

【重点分野－３】
夏休み特別 LINE 労働相談
職場で悩む若者をサポートします～我慢しないで LINE しよう！
連合本部 LINE 労働相談集計結果報告

連合本部では 8 月 24 日（火）、25 日（水）の 2 日間、「夏休み特別 LINE 労働相談・職場で悩む若者をサポートします～我慢しないで LINE しよう！」をテーマに、無料通信アプリ「LINE」による労働相談を実施した。

この取り組みは、相談者の問題解決に向けた対応とあわせ、労働相談を通じて組合結成や処遇改善の取り組み等の対応を行うとともに、寄せられた相談をもとに政策・制度への反映をはかることを目的とし、実施している。

- I. 日 時：2021 年 8 月 24 日（火）～25 日（水） 10～15 時（最終受付 14 時 30 分）
- II. 場 所：連合本部・労働相談センター（フェアワーク推進センター内）
- III. 相談対応
 - 1. 対応相談員：14 名（連合本部スタッフ 13 名、中央アドバイザー 1 名）
 - 2. 相談体制：無料通信アプリ「LINE」（期間限定）
- IV. 相談件数：113 件（1 日目 63 件、2 日目 50 件）
- V. 相談概況：

1. 事前の PR について

無料通信アプリ「LINE」による労働相談の実施にあたり、連合ホームページ、Facebook、Twitter など、各種広報媒体を活用し、事前に LINE@へお友だち登録を呼びかけた。

2. 属性

年代別では、40 代からの相談がトップで約 30%強、次いで 50 代が約 26%と中間年齢層からの相談で約 5 割以上を占めた。性別では女性が約 75%、雇用形態別では正社員が約 53%を占めた。正社員以外からの相談ではパートタイマーが 28%、派遣社員からの相談が約 10%となった。

3. 主な内容

相談内容別では「差別関係（パワハラ、嫌がらせ）」がトップで約 27%、次いで「雇用関係（休業補償や解雇・退職強要・契約打ち切りなど）」、が約 20%という結果となった。

相談件数は依然としてパワハラに関する相談がトップであるものの、その背景には退職への誘導となる事例が散見される。また企業規模の小さい職場でのトラブルや、人間関係に悩み法的観点からの対処では難しい相談も寄せられた。

さらに新型コロナウイルス感染症に関する内容では、ワクチン接種や PCR 検査に関する相談などコロナ禍における職場への様々な影響が見て取れる。主な相談内容は別紙のとおり。

以 上

＜寄せられた主な相談内容＞

■差別等

- パワハラが原因で体調不良となり 2 カ月間休職。「復帰ができなければ退職届を」と強要され、退職理由をパワハラとしたところ内容を書き換えるように言われた。
(男性)
- 夫婦で同じ職場に勤務。私(妻)は職場内の無視や陰口に悩み、夫は過度な仕事量を与えられ結果的に夫婦ともに退職に追い込まれた。
(パートタイマー・女性・30代)
- 賃金を一方的に1割カットされ、ミスをするとしつこく嫌味を言われる。マタハラで退職に追い込まれた同僚もいたが、会社が小規模で相談することも出来ない。
(正社員・女性・40代／卸業・小売業)

■雇用関係

- 法令の年次有給休暇取得は小さい会社では他人事。休暇は会社から与えていただくという職場環境で労働者からは何も言えない空気があるのが実情。行政からの周知を徹底してほしい。(不明)
- 兄の会社で働いている。体力的にもきつく、辞めたいと伝えても脅されて辞めさせてくれない。過労で倒れ、恐怖で眠れない日もある。(男性・20代／建設業)
- 地方公務員(正規職員)だが、ハラスメントや時間外手当の不支給で困っている。公平委員会も内部の人間で構成されており相談が難しい。
(正規職員・女性・20代／公務)
- 勤務のシフトが前日の夜に送られてきて、一日先のシフトすらわからないので予定が立たない。休日もしいきなり連絡が来て駆り出されることも多々ある。
(女性／医療・福祉関係)

■コロナ関連

- 「ワクチン未接種の人は仕事から外す」と脅されている。自分は持病を持っているので接種に対してとても不安。(派遣社員／医療・福祉)
- 病院で勤務。繁忙であるにも関わらずボーナスがカット、家族に発熱者が出た場合は自費でのPCR検査の強要、行動履歴の開示も求められる。
(正社員・女性・40代／医療・福祉)
- 上司から、コロナの濃厚接触者疑いの人の自宅に訪問するように指示があった際、拒否できるか。(不明)
- パートで働いていたが、コロナ禍で労働時間を一方的に減らされた。休業手当も支払われず、休業支援金の申請を行ったが会社は協力してくれなかった。(パート・男性)

以上